

家政系短大における教育に関する研究(キエ報)

関東における短大のカリキュラム上の特徴

目台学園短大 中島明子、大妻女大 大森正司、岡本順子、東農大 加藤みゆ子、短大女子短大 田中直義、
岐阜大 長野宏子、日本女大 湯本真子、東京家政大 石久保鈴子、西田野美

目的 短大、とりわけ家政系短大は、設立当時かう、その理念、教科内容等について問題を含め、かならずしもその目的に沿って機能を十分に果たし得てはなかった。しかしながら、短大協会を中心とした短大教育向上の取り組み、各短大におけるカリキュラム上の内部努力等が実り、各短大、学科、コース、にふさわしいカリキュラムが作成されつつあるのも事実である。今回は関東における家政系短大のカリキュラムについて情報学的手法で解析し、この様な変化を数量的に検討、知見を得たので報告する。

方法 各短大カリキュラムをコースごとに収録、学科目分類表により、インデクシングを行、た。これを前報と同様に処理した。

結果

1) 専門科目教科数は少ないところで30教科、多いところでは60教科にも及んでいた。
2) 短大設置基準等における例示教科は、当然の事ながら多く認められたが、歴史の比較的新しい大学においては文化、情報、福祉等の関連教科が多く認められた。すなわち従来の家庭内における教科に比べると、家庭と社会との関係に係わる教科目が多く、という事が特徴的であった。